

令和2年7月市議会臨時会 提案説明

本臨時会に提案いたしました諸議案につきまして説明申し上げます。

議案第145号から議案第147号までは、令和2年度の一般会計及び特別会計並びに企業会計の補正予算を提案するものです。

今月2日、本市職員が新型コロナウイルス感染症に感染したことを重く受け止めております。議員の皆様をはじめ、市民の皆様の不安を解消するため、改めて、より一層の感染防止、感染拡大防止に全力で努めていかなければならないと考えています。

新しい生活様式や新たな社会経済状態への対応など、新型コロナウイルス対策は新たなステージを迎えており、ウィズ・コロナ、感染防止と経済活動の両立はもとより、アフター・コロナ、鳥取市の未来を見据えた取り組みを進めていくことが求められます。

このたびの補正予算は、4月、5月の臨時補正、6月の先議補正に続く、緊急対策の第4弾として、国の第2次地方創生臨時交付金などを活用し、感染防止、感染拡大防止や地域経済の再生に全力で取り組むとともに、将来に向けた地方創生の取り組みを着実に前進させようとするものです。

はじめに、「市民生活と地域経済を守り、支える」取り組みです。

新型コロナウイルスの感染防止、感染拡大防止を徹底するため、公共施設や小中義務教育学校、保育園などへの衛生用品の追加配備、市立病院へのPCR検査機の導入と重症患者受入のための病棟改修などの経費を計上しています。

また、市民生活を守り、事業継続を支えるため、収入が減少している就労継続支援事業所や路線バス事業者への支援、特別定額給付金の対象とならない新生児に本市独自で一人当たり10万円の支給、県外に進学した学生への市内農産物などの提供などの経費を計上しています。

次に、「明日を切り拓く」取り組みです。

新たな生活様式に対応する環境を整備するため、市役所窓口などの3密対策や避難所の熱中症対策、全小中義務教育学校へのサーマルカメラ等の配備や生活の変化に伴う心の不安に寄り添う児童生徒相談員の増員などの経費を計上しています。

そして、多様な連携を促進するため、収入が減少した学生と人手不足の農業現場のマッチング、複数の事業者が連携して行うキャンペーンへの支援、新たな雇用や価値の創造のため、経営に打撃を受けた市内製造業の新たな取り組みへの支援などの経費を計上しています。

さらには、全市ひかり化で新たな地域づくりを進めるため、光回線の市内全域への整備を進めるとともに、農林水産業への先端技術の導入やオンライン移住相談など、市民の皆様と共にICTを活用した新たな取

り組みを進めていくための経費を計上しています。

また、先月13日、14日の豪雨により被害を受けた農業用施設などの災害復旧に、速やかに対応するための経費を計上しています。

引き続き、市民の皆様、議員各位のご協力のもと、国、県、医療機関、経済団体など関係する皆様との連携をより一層強固なものとし、市民生活と地域経済を守り、支え、鳥取市の明日を切り拓くための取り組みに、全力で努めてまいります。

報告第11号は、令和2年4月2日に車両が公衆用道路を走行中、跳ね上がった境界ブロックに接触し車両下方部分を破損した物損事故の損害賠償額及び和解について、令和2年7月1日に専決処分しましたので報告するものです。

報告第12号は、生活保護法第78条の規定による徴収金の支払及び訴訟費用の負担を求める訴えの提起について、令和2年7月3日に専決処分しましたので報告するものです。

以上、今回提案いたしました議案につきまして、その概要を説明申し上げます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。